

「そのとき」イエスは、ただペトロ、ヤコブ、ヨハネをつれて、たかいやまにのぼられた。イエスのすがたがかれらのめのまえでかわり、ふくはまっしろにかがやき、このよのどんなさらししょくにんのうでもおよばぬほどしろくなった。エリヤがモーセとともにあらわれて、イエスとかたりあっていた。ペトロがくちをはさんでイエスにいった。「せんせい、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。かりごやを三つたてましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのためもう一つはエリヤのためです。」ペトロはどういえばよいか、わからなかった。でしたちはひじょうにおそれていたのである。すると、くもがあらわれてかれらをおおい、くものなかからこえがした。「これはわたしのあいするこ。これにきけ。」でしたちはいそいであたりをみわたしたが、もはやだれもみえず、ただイエスだけがかれらといっしょにおられた。いちどうがやまをおりるとき、イエスは、「ひとのこがししゃのなかからふっかつするまで、いまみたことをだれにもはなしてはいけない」とでしたちにめいじられた。かれらは、このことばをこころにとめてししゃのなかからふっかつするとはどういうことかどろんじあった。

きょうのふくいんではイエスさまがペトロ、ヨハネとヤコブ、3にんのでしをつれていのるためにやまにのぼられた。イエスさまがいのりをしているあいだに3にんのでしたちはねむってしまいました。きゅうにイエスさまのすがたがかわって、いままでみたことがないまっしろなかがやきにつつまれて、モーセとエリヤとはなしているのを見て、もっとびっくりしてしまいました。それなのに、きもちがとてもよかったので、ペトロはこのかがやきをみて、いつまでもこのじょうたいがつづいてほしいとおもったのですが、そのぞみはかなえられませんでした。イエスさまにはこれからじゅうじかのみちがまっていたからです。そのときくものなかから「これはわたしのあいするこ、これにきけ」ときいて、おそれてしまいました。そのとき、イエスさまはふつうのすがたにもどっていて、ふるえていたかれらにふれて「たって、だいじょうぶですよ」といわれていっしょにやまをおりました。



かみさま（おんちち）のこえがきこえてきたのは、おんこである（むすこ）イエスさまのえいこうのかがやきは、いまかくれています。じゅうじかのみちをこえて、またそのかがやきのすがたであらわれま。それで、わたしたちにかみさまはイエスさまとあゆみなさいとさそってください。いつかまっしろなかがやきにつつまれているイエスさまとともにかみのくにへいくことができるのです。

しかしイエスさまのかがやきのすがたをみた3にんのでしたちは、そのとき、なんにもわからなかったが、イエスさまがふっかつなさったあと、わかるようになりました。じゅうじかをとおしてわたしたちにんげんをすくうために、くるしむことがひつようでした。しかしイエスさまのほんとうのすがたはかがやきのすがたです。わたしたちのため、ぜんぶせおってくださいだったので、わたしたちには、イエスさまかのよびかけがあります。

ぼくやわたしには、まわりのひとのためになにかできることがありますか、おうちのかたがたとかがえましようね。